

# 神経難病新聞

No.14

## 障害者総合支援法の対象疾病（難病等）

難病医療等嘱託医 足立 克仁

### 令和3年11月からの障害者総合支援法の対象疾病一覧（366疾病）

※ 新たに対象となる疾病（6疾病）		△ 表記が変更された疾病（0疾病）		○ 障害者総合支援法独自の対象疾病（29疾病）	
番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
1	アイカルディ症候群	64	眼皮腐白皮症	127	混合性結合組織病
2	アイザックス症候群	65	偽性副甲狀腺機能低下症	128	鯉耳腎症候群
3	I g A腎症	66	ギャロウェイ・モフト症候群	129	再生不良性貧血
4	I g G4関連疾患	67	急性壊死性脳症 ○	130	サイトメガロウイルス角膜炎内皮炎 ○
5	亜急性硬化性全脳炎	68	急性網膜壊死 ○	131	再発性多発軟骨炎
6	アジソン病	69	球脊髄性筋萎縮症	132	左心低形成症候群
7	アッシャー症候群	70	急速進行性糸球体腎炎	133	サルコイドーシス
8	アトピー性気管炎	71	強直性脊髄炎	134	三尖弁閉鎖症
9	アペール症候群	72	巨細胞性動脈炎	135	三頭筋欠損症
10	アミロイドーシス	73	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	136	CFC症候群
11	アラジール症候群	74	巨大動脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	137	シェーグレン症候群
12	アルポート症候群	75	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	138	色素性乾皮症
13	アレキサンダー病	76	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	139	自己食空胞性ミオパチー
14	アンジェルマン症候群	77	筋萎縮性御案硬化症	140	自己免疫性肝炎
15	アントレー・ピクスラー症候群	78	筋型糖原病	141	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症（※）※
16	イソ吉草酸血症	79	筋ジストロフィー	142	自己免疫性溶血性貧血
17	一次性ネフローゼ症候群	80	クッシング病	143	四肢形成不全 ○
18	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	81	クリオピリン関連周期熱症候群	144	シトステロール血症
19	1 p 36欠失症候群	82	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	145	シトリン欠損症
20	遺伝性自己炎症疾患	83	クルーゾン症候群	146	紫斑病性腎炎
21	遺伝性ジストニア	84	グルコーストランスポーター1欠損症	147	脂肪萎縮症
22	遺伝性周期性四肢麻痺	85	グルタル酸血症1型	148	若年性特発性関節炎
23	遺伝性肺炎	86	グルタル酸血症2型	149	若年性肺気腫
24	遺伝性鉄芽球性貧血	87	クロウ・深淵症候群	150	シャルコー・マリー・トゥース病
25	ウィーバー症候群	88	クローン病	151	重症筋無力症
26	ウィリアムズ症候群	89	クローンカイト・カナダ症候群	152	修正大血管転位症
27	ウィルソン病	90	痙攣重積型（二相性）急性脳症	153	ジュベール症候群関連疾患
28	ウエスト症候群	91	結節性硬化症	154	シュワルツ・ヤンベル症候群
29	ウェルナー症候群	92	結節性多発動脈炎	155	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
30	ウォルフラム症候群	93	血栓性血小板減少性紫斑病	156	神経細胞移動異常症
31	ウルリッヒ病	94	限局性皮質異形成	157	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
32	HTLV-1関連脊髄症	95	原発性局所多汗症 ○	158	神経線維腫症
33	ATR-X症候群	96	原発性硬化性胆管炎	159	神経フェリチン症
34	ADH分泌異常症	97	原発性高脂血症	160	神経有棘赤血球症
35	エーラス・ダンロス症候群	98	原発性側索硬化症	161	進行性核上性麻痺
36	エプスタイン症候群	99	原発性胆汁性胆管炎	162	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症 ※
37	エプスタイン病	100	原発性免疫不全症候群	163	進行性骨化性線維異形成症
38	エマヌエル症候群	101	顕微鏡的大腸炎 ○	164	進行性多発性白質脳症
39	遠位型ミオパチー	102	顕微鏡的多発血管炎	165	進行性白質脳症
40	円錐角膜 ○	103	高I g D症候群	166	進行性ミオクローヌズてんかん
41	黄色靭帯骨化症	104	好酸球性消化管管炎	167	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
42	黄斑ジストロフィー	105	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	168	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
43	大田原症候群	106	好酸球性副鼻腔炎	169	スタージ・ウェーバー症候群
44	オクシタル・ホーン症候群	107	抗糸球体基底膜腎炎	170	スティーヴンス・ジョンソン症候群
45	オスラー病	108	後縦靭帯骨化症	171	スミス・マジニス症候群
46	カーニー複合	109	甲状腺ホルモン不応症	172	スモン ○
47	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	110	拘束型心筋症	173	脆弱X症候群
48	潰瘍性大腸炎	111	高チロシン血症1型	174	脆弱X症候群関連疾患
49	下垂体前葉機能低下症	112	高チロシン血症2型	175	成人スチル病
50	家族性地中海熱	113	高チロシン血症3型	176	成長ホルモン分泌亢進症
51	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体) ※	114	後天性赤芽球病	177	脊髄空洞症
52	家族性良性慢性天疱瘡	115	広範脊髄管狭窄症	178	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
53	カナパン病	116	膠様滴状角膜炎ジストロフィー	179	脊髄髄膜瘤
54	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	117	抗リン脂質抗体症候群	180	脊髄性筋萎縮症
55	歌舞伎症候群	118	コケイン症候群	181	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症
56	カラクトース-1-リン酸フリクトシルトランスフェラーゼ欠損症	119	コステロ症候群	182	前眼部形成異常
57	カルニチン回路異常症	120	骨形成不全症	183	全身性エリテマトーデス
58	加齢黄斑変性 ○	121	骨髄異形成症候群 ○	184	全身性強皮症
59	肝型糖原病	122	骨髄線維症 ○	185	先天異常症候群
60	間質性膀胱炎(ハンナ型)	123	ゴナドトロピン分泌亢進症	186	先天性横隔膜ヘルニア
61	環状20番染色体症候群	124	5p欠失症候群	187	先天性核上性球麻痺
62	関節リウマチ	125	コフィン・シリス症候群	188	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症
63	完全大血管転位症	126	コフィン・ローリー症候群	189	先天性魚鱗癬

難病医療費助成制度の対象疾病（指定難病）は、2021年11月から338疾患に拡大されている。

ここでは、障害者総合支援法の対象疾患（難病等）として366疾患を掲載した。

これらは障がい者の定義に難病等が追加されたものである。

対象となる方は、障がい者手帳をお持ちでなくても、必要と認められた支援が受けられる。

なお、赤で示した疾患は、これまで掲載してきた「難病嘱託医が経験した指定難病」の43疾患で

#### 【編集後記】

今月は「障害者総合支援法の対象疾病」と「口腔ケア」について取り上げました。

難病の中には、唾液の分泌が低下するなど、口腔内の環境が悪化しやすくなる疾患や、手や腕、視力の低下等、自分でケアが難しくなることもあり、口腔ケアは重要な課題の一つです。

また、介護者が自分の健康を意識する時間が少なく、虫歯が進行したという話もよく聞きます。

患者も介護者も、今虫歯がない方もある方も、歯科の主治医を見つけていただいて、定期的に口の健康チェックをし、QOLの維持向上を図りましょう。

<健康づくり課 がん・疾病対策担当係長 T.T>

\*表記について：障がいをもつ人については「障がい者」とひらがなを利用した表記としていますが、法律名称については漢字表記（障害者総合支援法）を使っています。

令和3年11月からの障害者総合支援法の対象疾病一覧（366疾病）

文献：厚生労働省  
障害者総合支援法  
の対象疾病（難病等）  
の見直しについて  
（令和3年11月から）

※注：指定難病は、令和6  
年4月1日より3疾患追  
加され、341疾患となりま  
す。

※ 新たに対象となる疾病（6疾病）

△ 表記が変更された疾病（0疾病）

○ 障害者総合支援法施行日の対象疾病（29疾病）

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
190	先天性筋無力症候群	250	中條・西村症候群	310	ペーチェット病
191	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	251	那須・ハコラ病	311	ベスレムミオパチー
192	先天性三尖弁狭窄症	252	軟骨無形成症	312	ヘパリン起因性血小板減少症 ○
193	先天性腎性尿崩症	253	難治顔回部分発作重積型急性脳炎	313	ヘモクロマトーシス ○
194	先天性赤血球形成異常性貧血	254	22q11.2欠失症候群	314	ペリー症候群
195	先天性僧帽弁狭窄症	255	乳幼児肝巨大血管腫	315	ペルーシド角膜辺縁変性症 ○
196	先天性大脳白質形成不全症	256	尿素サイクル異常症	316	ペルオキシソーム病（新腎白質ジストロフィーを除く。）
197	先天性肺静脈狭窄症	257	ヌーナン症候群	317	片側巨脳症
198	先天性風疹症候群 ○	258	ニールバテフ症候群（HMGCoAリダーゼ欠損症）/LHXL1B関連症	318	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
199	先天性副腎低形成症	259	ネフロン病 ※	319	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症
200	先天性副腎皮質酵素欠損症	260	脳クレアチン欠乏症候群 ※	320	発作性夜間ヘモグロビン尿症
201	先天性ミオパチー	261	脳髄黄色腫症	321	ホモシスチン尿症 ※
202	先天性無痛無汗症	262	脳表ヘモジデリン沈着症	322	ボルフィリン症
203	先天性葉酸吸収不全	263	膿疱性乾癬	323	マリネスコ・シェーグレン症候群
204	前頭頭蓋変性症	264	囊胞性線維症	324	マルファン症候群
205	早期ミオクロニー脳症	265	パーキンソン病	325	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多単性運動ニューロパチー
206	総動脈幹遺残症	266	パージャー病	326	慢性血栓性肺動脈高血圧症
207	総排泄腔遺残	267	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	327	慢性再発性多発性骨髄炎
208	総排泄腔外反症	268	肺動脈性肺高血圧症	328	慢性肝炎 ○
209	ソトス症候群	269	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	329	慢性特発性偽性腸閉塞症
210	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	270	肺胞低換気症候群	330	ミオクロニー欠神てんかん
211	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	271	ハッチンソン・ギルフォード症候群	331	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
212	大脳皮質基底核変性症	272	パッド・キアリ症候群	332	ミトコンドリア病
213	大理石骨病	273	ハンチントン病	333	無虹彩症
214	ダウン症候群 ○	274	汎発性特発性骨増殖症 ○	334	無肺症候群
215	高安静脈炎	275	PCDH19関連症候群	335	無βリポタンパク血症
216	多系統萎縮症	276	非ケトーシス型高グリシン血症	336	メーブルシロップ尿症
217	タナトフォリック骨異形成症	277	肥厚性皮膚骨膜症	337	メチルグルタコン酸尿症
218	多発血管炎性肉芽腫症	278	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	338	メチルマロン酸血症
219	多発性硬化症/視神経脊髄炎	279	皮膚下硬さと白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈瘤症	339	メビウス症候群
220	多発性軟骨性外骨腫症 ○	280	肥大型心筋症	340	メンケス病
221	多発性囊胞腎	281	左肺動脈右肺動脈起始症	341	網膜色素変性症
222	多脾症候群	282	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	342	もやもや病
223	タンジール病	283	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	343	モワット・ウィルソン症候群
224	単心室症	284	ピッカースタッフ脳幹脳炎	344	薬剤性過敏症候群 ○
225	弾性線維性仮性黄色腫	285	非典型型溶血性尿毒症症候群	345	ヤング・シンプソン症候群
226	短腸症候群 ○	286	非特異性多発性小腸潰瘍症	346	慢性遺伝形式をとる遺伝性難聴 ○
227	胆道閉鎖症	287	皮膚筋炎/多発性筋炎	347	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
228	遅発性内リンパ水腫	288	びまん性汎細気管支炎 ○	348	4p欠失症候群
229	チャージ症候群	289	肥満低換気症候群 ○	349	ライソゾーム病
230	中隔視神経形成異常症/トモルシア症候群	290	表皮水疱症	350	ラスムッセン脳炎
231	中毒性表皮壊死症	291	ヒルシュスブルング病（金結晶型又は小腸型）	351	ランゲルハンス細胞組織球症 ○
232	膵管神経節細胞減少症	292	VATER症候群	352	ランドウ・クレフナー症候群
233	TSH分泌亢進症	293	ファイファー症候群	353	リジン尿性蛋白不耐症
234	TNF受容体関連周期性症候群	294	ファロー四徴症	354	両側性小耳症・外耳道閉鎖症 ○
235	低ホスファターゼ症	295	ファンコニ貧血	355	両大血管右室起始症
236	天疱瘡	296	封入体筋炎	356	リンパ管腫瘍/ゴーム病
237	禿頭と変形性骨椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	297	フェニルケトン尿症	357	リンパ管筋腫症
238	特発性拡張型心筋症	298	フォンタン術後症候群 ○	358	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）
239	特発性間質性肺炎	299	複合カルボキシラーゼ欠損症	359	ルビシユタイン・テイビ症候群
240	特発性基底核石灰化症	300	副甲状腺機能低下症	360	レーベル遺伝性視神経症
241	特発性血小板減少性紫斑病	301	副腎白質ジストロフィー	361	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
242	特発性血球症（遺伝性血球性素因によるものに限る。）	302	副腎皮質刺激ホルモン不応症	362	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴 ○
243	特発性後天性全身性無汗症	303	プラウ症候群	363	レット症候群
244	特発性大腿骨頭壊死症	304	ブラダー・ウィリ症候群	364	レノックス・ガストー症候群
245	特発性多中心性キャッスルマン病	305	プリオン病	365	ロスムンド・トムソン症候群
246	特発性門脈圧亢進症	306	プロピオン酸血症	366	肋骨異常を伴う先天性側弯症
247	特発性両側性感音難聴	307	PRL分泌亢進症（高プロラクチン血症）		
248	突発性難聴 ○	308	閉塞性細気管支炎		
249	ドラベ症候群	309	β-ケトチオラーゼ欠損症		

**口腔機能を向上させる**

**【あいうべ体操】**





「あ」「い」「う」  
の動きは口輪筋を鍛え  
る動きです。



「べ」の動きは  
舌筋を鍛えます。  
口、舌の準備運動とし  
て、食事前にゆっくりと  
大きく、10回程度発音し  
てみてください

**【口腔ケアは大事です！！】**

むし歯や歯周病を予防するために、お口の中を清潔にすることは誤嚥性肺炎などの感染症対策にとっても有効です。体調にあわせて適切な口腔ケアを行うことで、より高い効果を発揮します。

そのためには、お口のプロから正しい口腔ケアを学ぶことが大切です。

気軽に相談できるように【かかりつけの歯科医院】を持ちましょう。定期的な受診（往診）によって、お口の清潔を保つことが、生活の質を保つことに繋がります。

**【お口の体操してみませんか？】**

病気の進行によりお口の悩みはどんどん増えていきます。普段は何気なく行っている「話す・食べる・飲み込む」という行為は、筋肉を複雑に動かすという、意外と難しいことをしています。

お口の動きの劣えを防ぐためにはお口の運動が必要です。その1つとして気軽にできる「お口の体操」を紹介していますので、上の体操の方法を見て、無理のない回数からはじめてみませんか？

<健康づくり課 周産期・歯科口腔担当 歯科衛生士 A.K>